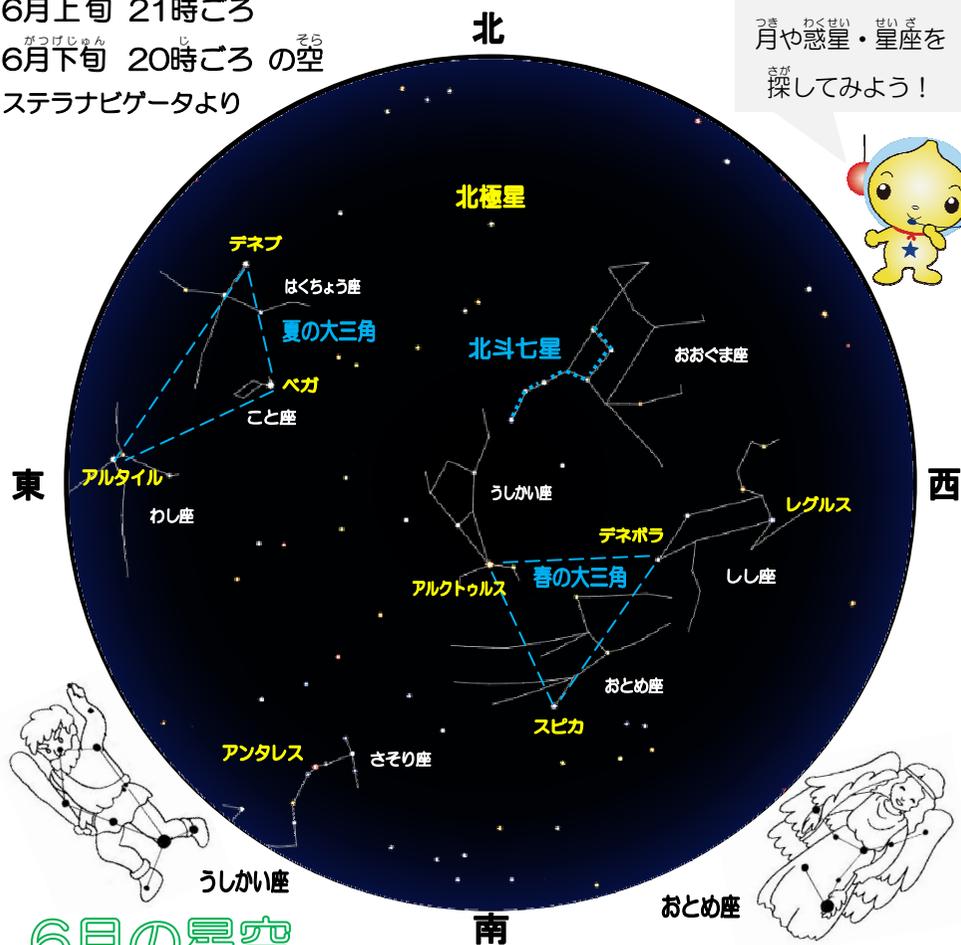


2021年 月刊★星空の散歩道 6月号

6月上旬 21時ごろ
6月下旬 20時ごろの空
ステラナビゲータより

月や惑星・星座を
探してみよう!



6月の星空

★宵空の主な星座と明るい星★

西の空と南の空に春の星座が見え、東の空に夏の星座が見えています。

- < 西 > うしし座 (レグルス、デネボラ)
- < 天頂 > うしかい座 (アルクトゥルス)
- < 南 > おとめ座 (スピカ)、さそり座 (アンタレス)
- < 東 > こと座 (ベガ)、はくちょう座 (デネブ)、わし座 (アルタイル)
- < 北 > 北極星、おおぐま座

★天文トピック★

6月 2日 月と木星がならぶ
夜中の1時以降に、東～南の間で2天体がならんでいる姿を楽しめます。

6月 5日 芒種
二十四節気のひとつで、米や麦などの穀物の種をまく時期という意味です。

6月 21日 夏至
北半球では、1年の中で昼の時間がもっとも長くなります。

6月 28日・29日 月と惑星がならぶ
月が、28日には土星、29日には木星に近づきます。

★月の形の変化★

- 6月 2日 下弦
- 6月 10日 新月
- 6月 18日 上弦
- 6月 25日 満月

★6月の惑星★

- 金星…夕方、西の空低く
- 火星…宵、西の空低く
- 木星…明け方、南の空
- 土星…明け方、南の空

<天文コラム> 星の色が違うのは…

6月の午後8時頃、頭の真上あたりではオレンジ色に輝く明るい星が自立っています。うしかい座のアルクトゥルスです。少し南に目を向けると白っぽい星、おとめ座のスピカもみつけられます。星座を作っている星は恒星といって、自ら光を出して輝いていますが、中にはアルクトゥルスやスピカのように色がわかるものもあります。

一般に恒星はその表面の温度によって、見かけの色が変わっていきます。赤い星は比較的低温で3,000度、オレンジ色の星で4,500度、黄色い星で6,000度、白い星は10,000度となり、さらに表面温度が高くなると青白い光を放つようになります。おとめ座のスピカはこの青白い星のひとつで、表面温度は20,000度以上と考えられています。星の色から、温度を知ることができるなんて、おもしろいですね。

星を見ていると、色の他にも明るさの違いや星がたくさん集まっているところなどに、気付くことがあります。夜空を見上げて、星の不思議を感じてみませんか。

